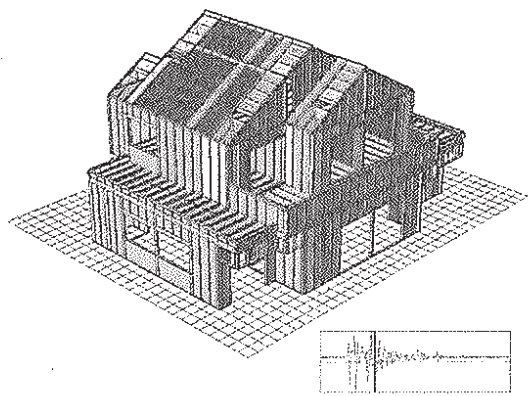


非住宅、2×4の
ウォールスタット **直結I/F発売**

全構造CADでの対応が完了

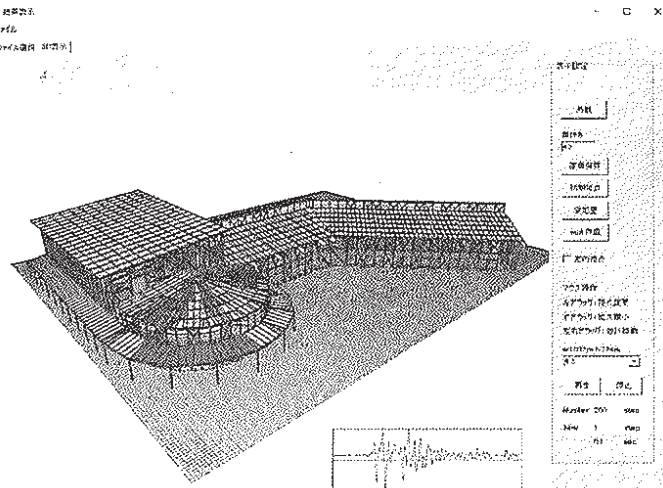
ネットイーグル

ネットイーグル（福た。CADで入力した岡市、祖父江久好社プレカットデータを直長）は今月から、非住 接ウォールスタット解宅・中大型木造建築向析データに出力するシのプレカットCADシステムで、再入力の手「XF15」と2×4C間なく、倒壊解析シミ震シミュレーションがAD「XF24」のウォ ユレーションができ可能になる。ールスタット直結イン。これにより、木造 これに合わせて、先軸組プレカットCAD行して販売している木「XSTAR」を含 造軸組プレカットCA った」と話す。め、木造軸組、2×D、XSTARの直結XF15の直結I/Fでは、面積制限のない4、非住宅のすべての I/FとXF15の直結 非住宅中大型建築が木CADデータで、ウォ I/Fの双方でタルキ 造住宅と同様の手軽さールスタットによる耐と屋根構面、水平構面



2×4住宅の耐震シミュレーション

非住宅の耐震シミュレーション



どでは特に顕し補強が必要な部分、著な差が出る組み替えが必要な部分。今回これらが分かるようになり、らに対応したより安全を重視した構ことで、一段造検討ができるようにと入力作業がなる」（祖父江社長）。効率化でき、金物は耐震性能見えより正確なシる化協会の建材データミュレーションベースに登録された金物が可能にな物のすべてが個別のパる。祖父江社 ラメータで出力でき、長は「XSTAR大断面用のテックワNEXTを使えば大断工法が最適面集成材を使った建物でもシミュレーションより強度があることをできる。一方、XF24では、証明する最適なツールになり得ることが分か「ワイヤーフレーム」と呼ぶ線情報に自動でXF15の直結I/F変換してシミュレーションする。軸組工法を非住宅中大型建築が木想定したウォールスタットでは、面で支える（床、小屋）で耐震シミュレーションできる。非住宅の構造設計はほとんどの場合、構造計算が行われるが、X、Y軸方向で検討される。屋根構面がほとんどの場合、構造計算が行われるが、X、Y軸方向で検討される。なくてもシミュレーションはY軸方向で検討される。ユレーションはY軸方向で検討される。けるが、あ許容応力度計算ルート床根太が乗る場合などる場合とない1では、斜めの揺れがワイヤーフレームが重場合とでは壁想定されておらず、実なる部分は、重複を解の損傷具合に際の地震波で揺らす消する必要がある。こ差が出るほと、構造計算とは異なるのたため、重なる部分はか、登り梁の検討結果が得られる青色の線で知らせ、手勾配天井を使という。構造計算上は動で編集できる機能をった大空間な問題なくとも、もう少設けた。